

支援内容ご紹介①

ぶりんぐあっぷの発達支援

運動遊びによる『楽しさ体験』の安定的な保障。お子様に負担の少ない形で、コンプライアンス・合意形成の確立を目指す。

地域の子供達とお母さんがハッピーでいられますように

未就園児

10:00～11:30

●初めての集団。
先生やお友達と楽しく過ごす(母子通園あり)

●遊具や玩具の使い方を先生やお母さんと一緒にゆっくと練習

●模倣遊び

●感触遊び

●ふれあい遊び

毎日通園

さくら組^(10名/1日)

10:00～13:30

●幼稚園・保育園に代わる場として、行事を実施(入卒園式、遠足、お泊り会等)

●送迎の実施

●手作り給食の提供・食事指導

●発達段階に沿った個別指導を実施

●月一回保護者会(さくらミーティング)を実施

併用通園

10:00～11:30

●基本的な生活習慣の確立のために、発達特性を考慮したスモールステップの支援(ライフスキル)

●運動機能促進

●コミュニケーションの促進。遊びや楽しみのバリエーションを増やし、やりとりにつなげる。

就学準備

15:00～16:30

●就学を見据え、一年をかけてゆっくと準備。

●集団遊びを通し、ルール理解・状況判断・具体的なコミュニケーションスキルの獲得を目指す。

●書字・読字を発達段階に合わせて練習。

放課後デイ

15:00～17:30

●小学校入学後のフォローアップ

●SST指導

●良好なコミュニケーション手法をお子様の特性に合わせてアドバイス

●体験活動

サマーキャンプ
各種行事

●学習支援

支援内容ご紹介②

家族支援

- 子育て講座(全4回)
 - ★先輩ママからの体験講話
 - ★ぱぱの会
 - ★タッチセラピー講習会
 - ★春・冬のお話会、発達勉強会
- 就学相談会
- ペアレントトレーニング
『ABAぺあすくプロジェクト』

継続相談 B-club
卒業後同窓会
サマーキャンプ実施

地域支援

- 保育所等訪問支援
- 各種研修会実施(予定含む)
 - 小児医療の現場から(講演会)
 - 感覚統合・入門基礎研修・J-map講習会
 - ABA 支援者向け講習会

家族支援★地域支援
安心して子育てのできる環境

『お話会』『就学相談』
お母さんたちへ安心を

『ぱぱの会』
お父さんたちの生の声を引き出す

『ぺあすくプロジェクト』
ご家族にとって、具体的な方法を

『タッチセラピー』
セラピーがもたらす効果を
皆様にお知らせ！！

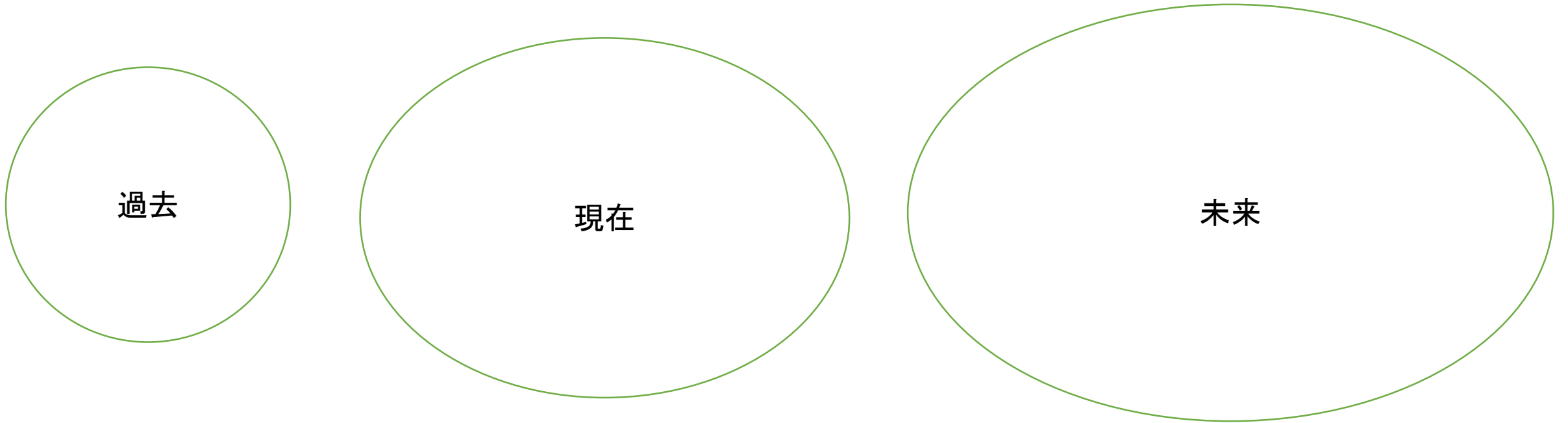
子どもの脳は皮膚にある！！の衝撃
触れてあげることの重要性と、発達障害のお
子様に対する触れ方技術を、専門セラピスト
より保護者に伝授。オキシトシンの分泌促進。
生成物質の効果的な摂取方法。

★先輩ママの体験
談が聞ける
★就学に向けたより
具体的なアドバイス

意外と多かった、
「俺とおんなじ悩みの人！！」
「こういうの待ってました！」の声
パパとのじゃれつき遊び体験会

慶応大学・専門機関との連携
による、ペアレントトレーニ
ングのプログラム。応用行動分
析ABA初級セラピストが実施
し、お子様の成長発達を個別
指導により促進していくほか、
保護者へのレクチャー・保護
者による実践を誘導する。
家庭内療育の基礎を学ぶ。

キーパーソンである、お母さん。その心の中は？



♪あの頃の未来にわたしは立っていますか？



Bring up

物事のとらえ方、見方、感じかた、感覚は 多種多様

- 思い込み、決めつけ、などで、画一的なもののとらえ方をしてはいませんか？
- 尺度を変えて見えてくる、新しい発想や考え方があります。
- 最近、なるほど～と思う経験をしたことがありますか？



感覚の過敏もしくは鈍感の具合が極端。

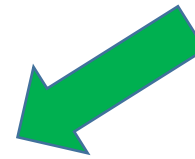
アンバランスが感じられるお子さんが多い。



感覚のアンバランスからくる、実感の不足

経験が実を結ばない・時間がかかる

不快・不安・恐怖が増幅しやすい、自信を失いやすい



コミュニケーションが苦手

遊びの幅がせまい

同じ質問を何回もする

切り替えが苦手・変更を嫌う

視線が合いづらい

相手の気持ちかわからない

些細なことにこだわる

手をひらひら跳びはねる

言葉の遅れ

愛着の障害
トラウマにも陥りやすい

ぶりんぐあっぷが大切にしている視点と手法

『できないことを子どものせいにならない』
という考え方



- 感覚統合の視点でお子様の心身の発達状況と特性を理解します。
- 応用行動分析 (ABA) の理論に基づき、負担の少ない手法を用いて、お子様の発達レベルの底上げを目指します。

合意形成の確立を、早期に負担少なく実施するには、有効な手法であると考えています。

感覚過敏のお子さんにやってあげたい事

- ◆ たくさんの感覚遊び・外遊び・アスレチック
- ◆ お父さんとのダイナミックな交流
- ◆ タッチング・マッサージ
- ◆ 様々な体験活動
- ◆ 的確なほめ言葉
- ◆ 肯定的な表現を増やす
- ◆ 年齢にこだわらない抱っこ（愛着の形成期は異なるので）

温かな共感関係
がすべての基本



子どもの行動

大人の反応

- ★よいことをしているとき
- ★静かに過ごしている
- ★テレビを見ている
- ★普通に歩いている

当たり前なので
特段リアクションなし

行動の弱化【減らす】

- ★よくない行動をとったとき

困るので叱る・注意する

行動を強化している【増やす】



★『大丈夫な時』こそかかわり時！！

★落ち着いていること自体をほめてあげましょう

テレビを見て静かにしているとき。
大好きなおやつを食べているとき。
遊ぼうよ～と要求してくれたとき。



こんなことを意識してみると、うまくいくかもしれません・・・

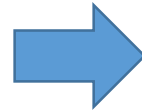
- ★予告する(さわるよ～)(おはなしするよ、いい？)(怒らなくて大丈夫だよ)
- ★目線に合わせる
- ★簡潔に・わかりやすい言葉で伝える
- ★指示は一つずつ
- ★好きな物を通して関わる。常に好きなものcheck！(要求を引き出しやり取りをする)
- ★優先順位を意識
- ★関わり方のバリエーション(声のトーン・音量・スピード・タイミング)
- ★メリハリを意識
- ★不必要に声をかけすぎない(応援する言葉は杖・長すぎず短すぎず)
- ★手取り足取り(遊具・玩具の遊び方も)
- ★阻止するときは感情を入れない
- ★大丈夫な時にこそ、関わってポイントを貯めよう！！(幸せチャージ)



完璧を求めないほうが達成率が高い(帳尻合わせ)

気持ち如何。意欲がないことを叱っても効果がない。

- 123は大人が、やって見せて弾みをつけることができると残りの7を自分でやれる子が多い。
- その気にさせる。できたことをほめて次につなげることの繰り返しがお互いにハッピー



サービスで帳尻合わせ

- 君だけちょっと特別よ！が効果的
- 先生に気持ちをひきつけたら勝ち。
- 先生主導で巻き込み遊び。
- 先生を好きになれば、いうこと聞きます！

頑張った実感を共有できる存在
暖かな共感関係

ポジティブメッセージ

- ◆発達障害は「一生発達しない」ではありません。
- ◆発達の仕方や学習様式が、周りにいるお子さんのそれと違うということだけなのです。
- ◆早期にその特性に気づき、理解を深め、家庭環境や教育環境などの場で適切なサポートを行うことで、その後考えられる症状や社会的困難性の軽減を図ることができます。
- ◆興味関心のある事柄には高い集中力を発揮します。内面がピュアで感性が研ぎ澄まされている事も多く、大人になり、突出した力を発揮し活躍する人もいます。



今

明日

1か月後

1年後

5年後

10年後



Bring up

子どもの笑顔は発達証
お母さんの笑顔は発達の道標

お母さんが
笑おう！！

お母さん自身の
人生も
大切に。

子どもの笑顔を増やす
ために・・・

